

風物詩

一年間の豊凶を占う正月の伝統行事～三井のお弓行事～

寝屋川市三井地区は、市の北西部、枚方市に続く香里丘陵の南端に位置しています。周辺には聖母女学院、同志社香里などの学校や閑静な住宅地があり、普段は落ち着いた雰囲気ですが、初詣や節分には成田山不動尊へ市外からもたくさんの参詣客が訪れ、付近は賑わいを見せます。

ここ三井地区で古くから受け継がれ、毎年1月に行われている「お弓行事」をご紹介します。

お弓行事は、かつては旧三井村の氏神社の正月行事として行われており、同社が明治43年（1910年）に友呂岐神社に合祀された後も、地区の行事として氏神社跡地に隣接する美井自治会館前の広場で続けられています。

1月8日（現在は成人の日の直前の日曜に実施）午後1時から友呂岐神社で御祓いの後、一同は会場まで行列をなして移動し、氏神社跡地に設けられた仮



祭壇前で神事を執り行います。そして午後2時からお弓の行事が始まります。矢は、その年に成人を迎える2人の射手が交互に6本ずつ、合計12本を15間（約27m）先の直径約1.5mの的に射るのですが、最初の4本は射手が立った姿勢、次の4本は座って、最後の4本は再び立って射ます。矢は12ヶ月を表すとされ、全てを射た後に矢の方向や的への当たり具合で毎月の天候や豊凶などが占われ、その結果が宮司さんから説明されます。

このような正月の歩射行事は西日本に広く分布し、かつては大阪府内でも正月の宮座行事として多く行われていましたが、現在まで続いているところはわずかです。三井のお弓行事は、射手の所作や行事参加者の装束などに伝統的な形態をよく残す歩射行事であり、成人式や年占いを併せ持つ代表的な正月行事として平成19年11月3日に寝屋川市の無形民俗文化財に指定されました。



● お問い合わせ先 ●

寝屋川市社会教育部文化スポーツ振興課

TEL：072-824-1181（内線 30070）

FAX：072-839-0262

E-mail：bunka@city.neyagawa.osaka.jp